WAKATSUBAKI MATSUYAMA 2012

60th MATSUYAMA JC

社団法人 松山青年会議所

わかつばき

JCI

Vol.10
2012

６０年の歴史に　感謝しながら生き抜こう　そして未来を切り拓こう

領土・領海意識醸成プログラム 参加報告

松山青年会議所 9月例会「新入会員入会式・正会員証授与式」「新しい松山のことばのちからの創造」参加報告

第61回全国会員大会 北九州大会 参加報告

理事長便り

Vol.9

社団法人松山青年会議所
第60代理事長
帽子 大輔

この感動を伝えることができるだろうか

「感動した」。十月十一日から十四日の四日間にわたり開催された、日本JCの全国会員大会北九州大会の感想を一言にまとめると、こんなありふれた言葉が出てくる。しかしこの大きな感動を、今『わかつばき』を読んでいる皆様に伝えることができるだろうか。

始まりは東田第一高炉（旧官営八幡製鉄所）で開催されたウエルカムレセプションであった。一九〇一年に日本初の製鉄工場が建設された北九州市は、戦前には国の重要な工業拠点であった。戦後は高度経済成長を支える重工業が発展しながらも、その代償として深刻な公害に苦しんだ都市でもある。この公害に最初に立ち向かったのは主婦の会であった。そして公害を官民一体となって克服し、現在では政府が認定する「環境モデル都市」として注目されるまでになっている。そのような歴史と北九州の市民としての誇りを持ち、社団法人北九州青年会議所の小田剛理事長が挨拶をされた。全国会員大会を控える松山JCのメンバーでなくても、その想いには熱く打たれるものがあっただろう。その場にいる関係者全員が、小田理事長と北九州JCのメンバーの気持ちを感じただろう。

また、北橋賢治・北九州市長から歓迎の挨拶をいただいたが、それが何とも言えない感動を更に呼び起こした。特に北九州JCが行政や市民との厚い信頼関係にあることを強く感じさせられた。先に述べたとおり、北九州市は多くの問題を乗り越えた歴史を持ち、その立ち上がりはいつも市民からであった。そのような土壌がある北九州市が、東日本大震災で被災した地域の震災がれきの受け入れがなかなか進まない状況を鑑み、受け入れをいち早く表明したことは本当にすごいことである。そして市長の話はこう続くのである。受け入れを決定した後、市役所には抗議の電話が鳴り続き、一件電話を取ると二時間では終わらない場合もあり、職員が深夜まで対応する日々が続いた。そんなとき立ち上がってくれたのは、他でもない北九州青年会議所であるという。彼らはすぐに三月十七日から二十一日にかけて市民七百三十七名に対して「北九州市の東日本震災復興支援に関する市民意識アンケート」を実施した。調査結果は、がれきの受け入れを実施することに賛成が六九・七％、反対が八・四％、分からないが二一・二％という内容であった。その数字と同様、賛成を後押しする声も行政に届き始めていた。調査結果を踏まえ、北九州青年会議所の小田剛理事長は三月二十二日、広域処理を後押しする提言書を市に提出した。これが「北九州市の歴史において問題に対して立ち上がったのはいつも市民でありました」という北橋市長のことばにつながっていた。「本当に北九州青年会議所の皆さんのおかげであります」ということばを発した瞬間、市長の声量はMAXとなった。マイクを通したその声は、会場のみならず屋外一帯にまで響き渡り、参加者の心に響いた。そして、最終日までその想いと北九州の魅力を最大限に体感しながら解団式を迎えたのである。

最後に北九州大会実行委員長の末松雅之君が述べたことばがすべてを物語っていた。「長い招致活動から始まり、三年間の準備、そして全国大会の開会日を迎え、あっという間に閉会日を迎えました。しかしながら、北九州青年会議所は本日をもって、やっとスタートラインに立てました。私は来年六十周年を迎える北九州青年会議所理事長を仰せつかりました。大会を通じて皆様からしていただいたことへのご恩返しは、来年以降北九州青年会議所がもっと輝き続けることです。今後ともよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました」……。

これが感動せずにいられるだろうか。そして、この感動もことばによって伝えられた。ことばのちからを発信しようとする松山青年会議所も、市民に信頼される存在でありたいものである。最後になりましたが、北九州大会にご参加いただき、様々なファンクションでお手伝いいただいた松山JCメンバー並びにシニアクラブの皆様、本当にありがとうございました。皆様のおかげで北九州大会のお手伝いをすることができ、北九州JCメンバーの皆様からもお礼のことばをいただいていることをお伝えいたします。本当にありがとう。

The national convention in KITAKYUSHU 2012

公益社団法人日本青年会議所

第61回全国会員大会 北九州大会

日本JC理事会

参加報告

10.12（Fri）

北九州国際会議場

全国会員大会松山大会の日程が決定

二〇一二年十月十二日（金）、北九州国際会議場にて公益社団法人日本青年会議所第九回理事会が開催されました。松山ＪＣからは三十名以上のメンバーがオブザーブ参加しました。

この日の審議案件は四十件以上。一切の妥協を排した会議は三時間半に及び、日本ＪＣ出向者の実行力の高さと規模の大きさを感じさせられました。審議の中には二〇一四年度第六十三回全国会員大会松山大会の開催日に関する件もあり、十月九日から十二日までの日程で可決承認された後、帽子大輔理事長に発言の場が与えられました。その発言中には同志である副主幹のＬＯＭメンバーの皆様方にも松山のメンバーと共に立ち上がっていただき、大変ありがたくて感謝の気持ちが込み上げました。

その他、二〇一五年度第六十四回全国会員大会の主管青年会議所が八戸ＪＣに決定しました。直前の最終プレゼンでは八戸ＪＣ、埼玉中央ＪＣ、広島ＪＣがそれぞれ大会に向けての思いを説明しましたが、八戸ＪＣの震災復興に向けての使命感のこもった力強いメッセージが、多くの方の心を動かした結果だと思います。各立候補ＬＯＭ理事長の熱いメッセージを聞くと、昨年の大野剛嗣直前理事長の一生懸命のプレゼンを思い出し、あらためて我々も身の引き締まる思いとなりました。

井川直樹会頭の挨拶では、全国会員大会北九州大会の激励のほか、全国緊急開催中の領土・領海フォーラムへの協力のお礼や、日本ＪＣが憲法草案を発表し新聞に取り上げられた話などがありました。この憲法草案は、日本ＪＣのホームページからも閲覧可能となっていますので、ぜひご一読ください。

今回初めて理事会に参加した新入会員にとっては少々長い会議で驚いていた様子でしたが、多くのメンバーの意識が高揚し、身が引き締まり学びのある理事会でした。

The national convention in KITAKYUSHU 2012

公益社団法人日本青年会議所

第61回全国会員大会 北九州大会

地域活性たからいち

報告

10.12（Fri）

勝山公園大芝生広場

「焼じゃこてん」を提供、大好評！

十月十二日（金）午後五時半から、北九州市の勝山公園大芝生広場にて公益社団法人日本青年会議所大懇親会（たからいち）が開催されました。全国各地の「地域のたから」が北九州に集結し、ご当地アイドルＱｕｎＱｕｎや北九州出身の原口あきまささんによるものまね等、ステージイベントもたくさんありました。

松山ＪＣのブースでは、焼じゃこてんを提供しました。最少の人数でブースを運営し、残りのメンバーは北九州ＪＣのお手伝いで四カ所に分かれてドリンクの提供をしました。合間には北九州ＪＣのメンバーから大会の話等も伺うことができ、懇親を深められるよい機会となりました。焼じゃこてんは「とてもおいしい」といい評判でした。

今回は自ブースの運営に忙しく、ほかのブースを見ることがほとんどできないでいましたが、多くの他ＬＯＭメンバーから各ブースの差し入れをいただける場面もあり、各所で思いやりの溢れるよい懇親会となりました。十三、十四日には一般市民の方にも解放し、大変喜んでいただいたようです。

北九州ＪＣ渡邉さん、重永さんと

ご当地アイドルＱｕｎＱｕｎライブ

The national convention in KITAKYUSHU 2012

公益社団法人日本青年会議所

第61回全国会員大会 北九州大会

卒業生受付・拡大褒章・アワード

報告

10.13（Sat）

北九州メディアドーム

宇和島ＪＣが拡大褒章を受章

十月十三日（土）午後四時から、北九州メディアドームにて「公益社団法人日本青年会議所　拡大褒章とＡＷＡＲＤＳ　ＪＡＰＡＮ２０１２第２部」が開催されました。この日、松山ＪＣのメンバーは北九州ＪＣのお手伝いで卒業生の入場受付を担当させていただきました。三時間前の午後一時に集合した三十名以上のメンバーは、スムーズな受付ができるように大会スタッフの方と念入りに確認・準備をし、無事任務を終えることができました。

拡大褒章では、宇和島ＪＣの土居大輔理事長が登壇し表彰されました。同じ愛媛のＬＯＭが受章し大変嬉しく思います。後ほど土居理事長に話を聞くと、壇上は照明の数が多くてかなり熱かったと笑顔で答えてくださいました。

前日に開催されたアワードの第一部では、エントリー事業紹介後に規定部門賞と会頭特別賞の発表・表彰が行われました。そしてこの日の第二部で最優秀グランプリが発表されました。熊谷ＪＣの事業「クールシェアくまがや～エアコン消して　涼しいところに集まろう～」が見事、栄冠を勝ち取りました。このアワードは優れた事業に対し栄誉を讃えるもので、参加者が受賞した事業を参考にすることで、青年会議所運動と地域の更なる発展への一助となることを目的としています。

井川会頭と宇和島ＪＣ土居理事長

グランプリ　熊谷ＪＣ

松山ＪＣが卒業生受付を担当

The national convention in KITAKYUSHU 2012

公益社団法人日本青年会議所

第61回全国会員大会 北九州大会

大会式典・卒業式 参加報告

10.13（Sat）

北九州メディアドーム

胸を躍らせる壮大な演出

十月十三日（土）午後五時から、北九州メディアドームにて公益社団法人日本青年会議所第六十一回全国会員大会北九州大会の大会式典が開催されました。北九州出身の松本零士さんに因んで、オープニングでは『銀河鉄道９９９』の映像と曲をバックに子供たちを中心としたダンスが披露されました。とてつもない大画面に銀河鉄道が走る映像に、参加者は胸を躍らせました。そしてムービングライトが光り、人気アーティストのライブのような演出で北九州ＪＣの小田剛理事長が登場。開会宣言では心からの歓迎を述べた後、戦後の復興の原動力となったこの街と東日本大震災からの復興を重ね合わせ、ＪＣ運動の凄さと可能性をあらためて説明し、参加メンバーの意識を高めていただきました。

来賓紹介・祝辞の後、二〇一二年の日本ＪＣ活動報告と会頭メインスピーチがありました。井川直樹会頭は、「あなたがＪＣや仕事などで困ったときには、日本ＪＣもＪＣの四万名のメンバーもあなたの側にいるから必ず相談してください」と激励。「変わらないために変わる。そのためには、我々は当たり前のことを粛々としなければならない」と述べ、「ＪＣ運動を最後まで諦めないでください」と力強く話されました。次年度会頭候補者紹介とスピーチに続き、プレジデンシャルリース伝達も行われ、最後に大会の鍵が奈良へと引き継がれました。

卒業式では、卒業予定者に岡本真夜さんから歌のプレゼントが贈られました。卒業生代表答辞では、日本ＪＣ顧問の矢口健一君が我が子との時間を犠牲にしてまでＪＣ運動をしてきた苦悩の日々を話しました。「我が子のためだけでなく未来の全ての子供たちのためにやってきたことは決して間違っていない」と熱く語り、ＪＣ運動を託された我々の激励をしてくださいました。利他の精神を持ち、ＪＣ運動を粛々としていかねばならないとあらためて覚悟する機会となりました。卒業生の皆様、おめでとうございます。そして本当にありがとうございました。

９月例会参加報告

『新入会員入会式・正会員証授与式』
『新しい松山のことばのちからの創造』

■と　き／９月１８日（火）　■ところ／松山市青少年センター

松山の魅力の発信力を高める

九月十八日（火）、松山市青少年センターにて九月例会「新入会員入会式・正会員証授与式」が拡大アカデミー委員会の担当で開催され、続けて例会行事「新しい松山のことばのちからの創造」がひとづくり委員会の担当で開催されました。「新入会員入会式・正会員証授与式」では、メンバーの日常を含む写真を映像に使うなど、新たなメンバーの個性が感じられる良い演出でした。登壇したメンバーの会員意識の向上にも繋がったと思います。そして新入会員・正会員のそれぞれの代表が力強いメッセージを発信し、松山ＪＣにまた新たな風を巻き起こしてくれる予感がしました。

人々を支え、元気づけ、心を癒やし、未来を切り開くことのできる地域のたから「ことばのちから」。九月例会行事「新しい松山のことばのちからの創造」は、この「ことばのちから」に気づき、理解し、全国会員大会へ向けて松山の魅力を対外メンバーに発信する力を高めることを目的として開催されました。また、それにより地域への愛着心を向上させ、明るい豊かなまちづくりに寄与することも目的としています。本年度のひとづくり委員会の例会担当月は五月・七月・九月の三部構成のため、これまでの五月・七月例会のまとめの報告から始まりました。そして松山ＪＣの過去の事業でことばのちからに関係した俳句甲子園・親守歌を振り返り、その他の関連事業紹介もありました。最後にこれからの松山のことばのちからについての提言があり、メンバーのことばのちからもまた一つ高まったように思えます。今後もことばのちからについての発信力を高め続けることで、二〇一四年度公益社団法人日本青年会議所全国会員大会松山大会において、全国のメンバーに感動を与え、ことばのちからを全国に発信しなければなりません。明るい豊かな社会の実現を目指す我々の使命感を再確認することができた、素晴らしい例会となりました。

社団法人 松山青年会議所

松山JCの未来を切り拓く！

2012年度 新入会員紹介

総務広報渉外室 広報委員会

鷲尾　俊季
（わしお　としき）
1980.11.10生
近藤物産㈱松山支店
統括課長

古田　善亮
（ふるた　よしあき）
1984.2.13生
㈱古新

新田　展史
（にった　ひろふみ）
1974.7.15生
㈱アトラックス
代表取締役社長

大野　誠也
（おおの　まさなり）
1978.12.25生
㈲大野塗装店
専務

未来室 拡大アカデミー委員会

松崎　由花
（まつざき　ゆか）
1977.2.4生
㈱FOOD ONE 男組 釣天狗
副店長

藤川　正英
（ふじかわ　まさひで）
1975.4.19生
㈱フジカワ
営業部長

多賀　一晃
（たが　かずあき）
1982.4.6生
㈱タガ

栗林　卓民
（くりばやし　たくみ）
1981.12.18生
ＩＶＩＺＡ

地域連携室 地域コミュニティ委員会

川中　一平
（かわなか　いっぺい）
1983.10.11 生
㈱フジトラベルサービス
リーダー

後藤　正信
（ごとう　まさのぶ）
1974.9.19 生
土地家屋調査士
石丸寿夫事務所

田中　鉄也
（たなか　てつや）
1975.4.1 生
宗教法人 正宗寺

盛重　裕也
（もりしげ　ゆうや）
1980.10.20 生
㈱松山建装社
係長

地域歴史文化室 地域振興委員会

船田　一郎
（ふなだ　いちろう）
1978.11.29 生
㈱小倉葬祭社
本部長

渡部　元久
（わたなべ　もとひさ）
1976.7.13 生
㈱愛媛銀行
課長

嶋　玲奈
（しま　れいな）
1984.3.7 生
㈱嶋茶舗

地域連携室 創立６０周年実行委員会

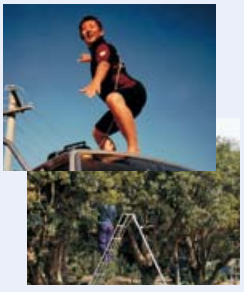
野口　直樹
（のぐち　なおき）
1976.7.5 生
㈱伊予銀行 本店営業部
課長代理

須賀　俊介
（すが　しゅんすけ）
1988.6.21 生
㈱須賀組
代表取締役社長

宮岡　博
（みやおか　ひろし）
1976.4.2 生
㈱七色建工
代表

角村　伸広
（かどむら　のぶひろ）
1976.4.4 生
㈱三真
課長

歌原　良成
（うたはら　よしなり）
1977.10.11 生
造園花や四季
代表



領土・領海意識醸成プログラム

参加報告

と　き／１０月１日（月）ところ／ひめぎんホール
（愛媛県県民文化会館）

基調講演／国家基本問題研究所理事長　**櫻井 よしこ** 氏
パネリスト／元海上保安官　**一色 正春** 氏
東海大学海洋学部教授　**山田 吉彦** 氏

全国各地で緊急開催中！

本事業は、公益社団法人日本青年会議所の事業である領土・領海意識醸成プログラムの一環で、韓国の李明博大統領の竹島上陸や中国との尖閣諸島問題の緊迫化などにより、日本全国十二会場において緊急に開催されることとなりました。その第一回目が松山開催ということで、松山ＪＣメンバーが動員と運営をお手伝いいたしました。

ジャーナリストの櫻井よしこ氏による基調講演では、現政権の中に中国を刺激してはならないと信じている人がたくさんいると政府対応を批判し、憲法改正の必要性を訴えました。その後のパネルディスカッションでは、東海大学海洋学部教授の山田吉彦氏と元海上保安官の一色正春氏をパネリストに迎え、日本ＪＣ領土・領海委員会の井之上大和委員長をコーディネーターとして開催されました。

領土問題に対する市民の関心は高く、約千五百人が来場。帰り際に感謝と激励の言葉を数多くいただきました。その後、十月十二日には日本ＪＣより憲法草案が発表され、新聞に取り上げられました。

じゃがいもクラブ

じゃがいもクラブ会長　**菅野　崇**

優　勝
白石　裕英 先輩

●２０１２年度　愛媛ブロックじゃがいもクラブ秋季大会
（９月２３日（日）滝の宮カントリークラブ）

秋季大会には帽子理事長が、１０月１３日全国シニアエクスカーションゴルフ大会には、増田次年度理事長が駆けつけ、じゃがいも西日本地区大会のPRを行いました。

JAGAIMO CLUB

マリンスポーツクラブ

マリンスポーツクラブ会長　**池田　啓吾**

ジンベイザメと一緒に泳ぐ！

9月26日（水）、高知県土佐清水市のジンベイスイムに行ってきました。沖の定置網にかかったジンベイザメを、海遊館などの水族館の予備にするため生け簀で飼育しているもので、スキューバやシュノーケリングで一緒に泳ぐことができます。メッチャでかいけど大人しくて可愛いやつで、体長はオスが５ｍでメスが4.5m。10mの個体もいたらしいのですが、大きすぎてどうにもならないので放流したとのこと。水温の下がる来月には残りの個体もすべて放流してしまいます……。 来年も捕まったら、皆さん一緒に行きましょう！

SUGA

鳶工事専門業

株式会社 須賀組

〒791-8006 松山市安城寺町263-11
TEL (089) 927-0777　FAX (089) 923-3961
E-mail : sugagumi@pop02.odn.ne.jp

KENSO

想いをカタチに…

株式会社 松山建装社

☎ (089) 941-5221(代)　松山市三番町7丁目1-7
URL http://www.kensosya.co.jp　E-mail info@kensosya.co.jp

これからは「かしこく」つなげる

MOBILE COM.
smart network service & support

NTTドコモ一次代理店・NTT西日本販売代理店

www.mobilecom.co.jp

---

car repair koizumi

代表取締役
小泉隆央

株式会社 小泉自動車

愛媛県松山市北井門町2丁目29-20　〒791-1105
TEL (089) 956-5518㈹　FAX (089) 956-5528
E-mail : koizumi@netcruise.co.jp

施設概要
各室89室(和室59室・洋室シングル28室・ツイン2室)350名収容／能舞台／結婚式場／コンベンションホール／会議室
大中小宴会会場4室／料亭14室／レストラン／バー／クラブ
カラオケルーム2室／コーヒーショップ／ロビーラウンジ
売店／大浴場／露天風呂／美粧室2室／写場／駐車場70台
送迎バスあり

日本の宿　風姿花伝

大和屋本店

四国・松山・道後温泉

愛媛県松山市道後湯之町20-8 〒790-0842
TEL089-935-8880 FAX089-935-8881
http://www.yamatoyahonten.com

愛されて50年…
心も新たに100年を目指して

旧社名 ㈲黒田電機商会

愛和電設株式会社

AIWA DENSETSU CO.,LTD

代表取締役社長　黒田　直

おかげさまで百周年、支えられて一世紀。

総合建設業　明治43年創業

株式会社 門屋組

代表取締役社長　門屋　光彦(てるひこ)

ご予約・お問い合わせ
913-8839
営業時間
17:00～0:00
(L.O. 23:00)

食楽癒庵

松山市三番町1-11-3 西村商事ビル1F

マルマストリング

リフォーム&太陽光発電　クネット(手すり)

松山本社　松山市問屋町3番6号
TEL 089-922-2121(代表)
今治本社 宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津／営業所
http://www.marumasstrig.co.jp/

出張買取いたします!! 良質車・希少車求む

SCHATZ JAPAN Co.,Ltd.
TOTAL CAR BOUTIQUE

株式会社シャッツジャパン
本社・ショールーム ▸ 松山市北吉田町246-1　TEL 089-989-0050
買取ステーション ▸ 松山市北斎院町481-3　TEL 089-989-0052
営業時間 9:00～21:00　定休日 火曜日　HP http://www.schatz-j.com/

- car sales　国産車、輸入車、新車、中古車販売、自動車買取事業、オートオークション代行
- metal plate　自動車板金塗装、事故板金塗装
- inspection　車検、一般修理、一般整備
- insurance　株式会社 損害保険ジャパン 代理店　シャツツ損害保険

人にやさしく、環境にやさしく

廃棄物の総合処理

松山容器株式会社

〒791-8042　愛媛県松山市南吉田町2145番地1
TEL 089-971-5403　FAX 089-973-1517
http://www.matsuyama-youki.jp/

真心の運転

株式会社 ハート交通

貸し切りバスのご用命は…
☎(089) 911-8810
〒791-8001 愛媛県松山市平田町311-1

『白い旅人』のお供承ります。
全国どこへでも、プランに合わせてご相談に応じます。グループでの旅行や巡礼・冠婚葬祭や各種イベントにご満足いただけます

リフォームならお任せ!!

株式会社 ビケン

0120－06－3138
〒790-0041
愛媛県松山市保免上1丁目17-2
TEL:089-947-3138
FAX:089-947-5098
URL:http://biken-ehime.co.jp

不動産のことならお任せ下さい！

～賃貸・売買・物件管理・土地活用～

Sanpuku
三福社宅サービスカンパニー

〒790-0012 松山市湊町5丁目5-5
TEL/089-915-2232 FAX/089-913-0329
URL/http://www.3puku.co.jp

MIRAI The PRIDE of Made in JAPAN
株式会社エムケイトレーディング

「100人は100通りに」
- MIRAI GOLF -

ゴルフ30

Address :
4-3-10, Kosaka, Matsuyama-shi, Ehime-ken JAPAN
TEL: 089-931-6234 / FAX: 089-932-3244

PASTEM
MATSUZAWA

環境と未来(あした)を考えるシステムの包装商社

株式会社 パステムマツザワ

〒791－8507
愛媛県松山市久万ノ台695番地1
TEL 089－925－7811(代表)
FAX 089－924－5993

熱・水・環境のベストパートナー

MIURA

三浦工業株式会社

http://www.miuraz.co.jp

四国支店　松山市堀江町1201-2　〒799-2651
松山営業所　TEL 089-979-1113

元気が1番!

地域に愛され、社会に貢献

アマノ印刷

〒790-0932 松山市東石井一丁目10-30
TEL089-956-2442　FAX089-956-2180
E-mail:amanop@poppy.ocn.ne.jp

Safe Driving Yamariku Express

車両輸送のプロフェッショナル私たち山内陸送が「運ぶ」プロとして、出来ませんとは言いたくない！

「信頼」「安全」「確実」「丁寧」

相談窓口　車のことで悩んだら、まずご相談ください！
(089) 933-1010
(月～日　9:00am～6:00pm)

車のことで悩んだら、まずはご連絡ください。

有限会社 山内陸送

TEL (089) 933-1010
FAX (089) 933-3548
E-mail : info@yamariku.jp

～地域の文化を大切にする～

清酒 桜うづまき

桜うづまき酒造株式会社
松山市八反地甲71 ☎ 089-992-1011

平成24年10月21日発行

発行所▶社松山青年会議所・〒790-0067愛媛県松山市大手町2-5-7 ☎(089)941-0194
URL▶http://www.matsuyama-jc.or.jp ▶E-mail jimkyoku@matsuyama-jc.or.jp

台湾からの、世界からの思いに応えるために－

JCI 世界会議台北大会へ！

11月16日（金）～23日（金）

▲サマコンの際には台湾ＪＣさんが
松山ＪＣロムナイトに参加してくださいました

東日本大震災に対し、台湾からの義援金額が世界でもっとも多く、また台湾が災害に見舞われた際の一番の援助国は日本でした－。

ＪＣＩ世界会議台北大会では、JCI AWARD など充実した各種プログラム、国内メンバー向けには初参加のメンバーでも楽しめるようなファンクションを設けております。
ぜひ皆さま！ご参加ください！！

台北

- ●日本語が比較的よく通じます
- ●親日家が多く心から心配してくれています
- ●飛行機でたったの３時間半！（東京～台北の目安）
- ●屋台グルメ、絶品台湾料理、美味し茶！

日本料理
すし丸
私たちが誇る故郷の味、伊予松山の食文化－
創業六十年を越えて、未来に伝えたい…
株式会社 三好食産 http://www.sushimaru.co.jp
■本 店 松山市二番町2丁目3番地2 TEL 089-941-0447 FAX 089-945-1688
■道後店 松山市道後湯之町20-12 ホテルパティオドウゴ1F TEL・FAX 089-932-6157
■仕出しセンター 松山市越智3丁目15番4号 TEL 089-958-0033 FAX 089-958-0034

オールドイングランド
道後山の手ホテル
松山市道後鷺谷町１－１３
TEL089－998－2111 www.dogo-yamanote.com
シングル(1泊朝食付)9,600円／ツイン(1泊朝食付)9,600円
※ツインルーム2名様ご利用時の1名様料金※休前日2,100円UP

大理石・庭石・エクステリア・タイル
M・G・Mストーン株式会社
STONE Miura.Granite.Marble.STONE.CO.,LTD.
お墓・霊園・お墓のリフォームのことなら
お墓の斎院（さや）
〒791-8031
愛媛県松山市北斎院町58-1
TEL 089 (974) 5915 FAX 089 (974) 5917
お墓のさや 検索
MGM ストーングループ

e-package
やさしさを包む
資源循環型社会へ…
愛媛パッケージ株式会社